

「学校」は、自分のよさを見つけ・伸ばすところ



学校長 武田 民弥

令和2年度がスタートしました。児童も新しい学年になり、新しい学級や担任の先生に少しずつ慣れようとしています。コロナウイルス感染対応等でPTA総会も実施できない状況になりました。

「今年度の学校経営方針・学校像」について報告させていただきます。

今年度の学校テーマは、

「ひとはだぬごう北浦小 PRIDE (プライド)」

～認め・見守り・導く～

です。「**進んで**」をキーワードとし、児童にプライドを育てていきたいと考え、以下の3つの児童の育成を目指していきます。

- 自ら判断し、**進んで**行動できる児童の育成
- 誰にでも、**進んで**あいさつができる児童の育成
- 「ちょボラ活動」に**進んで**取り組む心豊かな児童の育成

本校教育の根幹となるのが「**認め・見守り・導く**」です。私は、『学校』とは、「子どもたちに自信をつけさせる場」であると考えています。様々な教育活動を通し、児童一人一人が自分の『よさ』に気付き、その『よさ』を伸ばしていくことで、自分に自信がつき、生きていく上で身に付けなければならない力、いわゆる「生きる力」が付いてくるのだと思います。

まず、自分の『よさ』に気付くために、学校では児童が活動する場を積極的に設けていきたいと思っています。学校行事などのイベントばかりでなく、日頃の「ちょボラ活動」「委員会活動」「集会活動」等を、先生に与えられる活動から児童が少しでも自分で考え、できるところから自分の力で取り組んでいける活動へとしていきたいと考えています。そして、そういった取組を通して、「自分にはこんな素晴らしいところがある」ことを実感させていきたいと思っています。

児童一人一人が、輝き躍動する学校生活を送れるよう、職員一丸となって取り組んでいきます。保護者の皆様、御理解・御協力をお願いいたします。